

**令和6年（2024年）5月27日～28日に
九州南部・奄美地方、四国地方及び東海地方に
線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを行った事例**

令和6年6月 気象庁大気海洋部

気象の概況、線状降水帯に関する情報の発表状況

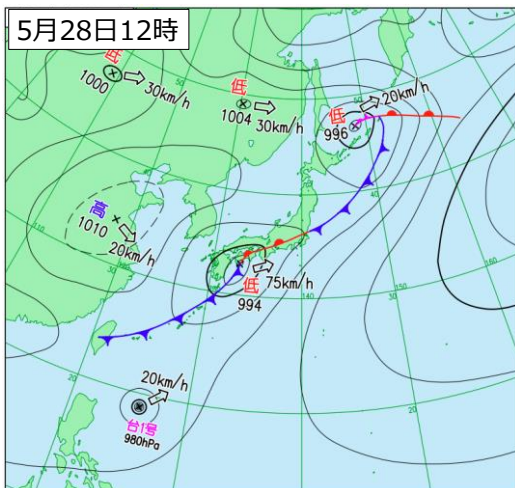
【気象の概況】

・前線を伴った低気圧が5月27日から28日にかけて日本付近を通過した。低気圧や前線に暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で大気の状態が非常に不安定となり、西日本から東日本では大雨となった。

【線状降水帯に関する情報の発表状況】

・鹿児島県及び宮崎県では5月27日から28日の気象情報にて、徳島県、高知県、岐阜県、静岡県、愛知県では5月28日の気象情報にて、線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施した。

○ 線状降水帯に関する情報の発表状況



地方予報区	府県予報区※1	半日程度前からの呼びかけ※2、※3	顕著な大雨に関する気象情報※4	3時間降水量の最大値
九州南部・奄美地方	鹿児島県 (奄美地方を除く)	5月27日11時13分	なし	約110ミリ
	宮崎県	5月27日11時13分	なし	約110ミリ
	奄美地方	5月27日16時09分	なし	約80ミリ
四国地方	徳島県	5月28日05時08分	なし	約160ミリ
	高知県	5月28日05時08分	なし	約200ミリ
東海地方	岐阜県	5月28日05時06分	なし	約90ミリ
	愛知県	5月28日05時06分	なし	約70ミリ
	静岡県	5月28日05時06分	なし	約110ミリ

※1 鹿児島県では奄美地方を、東京都では伊豆諸島と小笠原諸島を区別して発表する。

※2 一連の現象で複数回呼びかけた場合は、最初の呼びかけ日時のみ掲載。

※3 全般気象情報、地方気象情報、府県気象情報のうち、一番早く発表された情報の時刻を掲載。

※4 線状降水帯の発生をお知らせする「顕著な大雨に関する気象情報」は、現在、10分先、20分先、30分先のいずれかにおいて、以下の基準をすべて満たす場合に発表する※5。

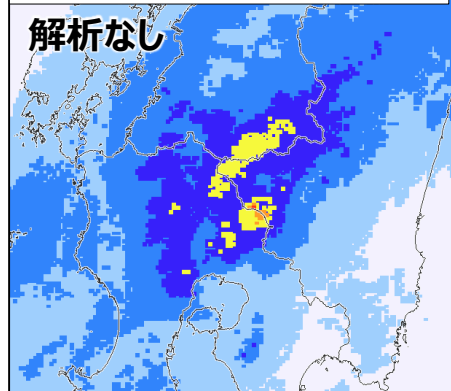
① 前3時間積算降水量(5kmメッシュ)が100mm以上の分布域の面積が500km ² 以上	形状の基準
② ①の形状が線状(長軸・短軸比2.5以上)	形状の基準
③ ①の領域内の前3時間積算降水量最大値が150mm以上	雨量の基準
④ ①の領域内の土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)において土砂災害警戒情報の基準を超過(かつ大雨特別警報の土壌雨量指数基準値への到達割合8割以上)又は洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)において警報基準を大きく超過した基準を超過	危険度の基準

※5 情報を発表してから3時間以上経過後に発表基準を満たしている場合は再発表するほか、3時間未満であっても対象区域に変化があった場合は再発表する

線状降水帯の解析状況

3時間降水量 2024年5月28日08時40分時点

解析なし

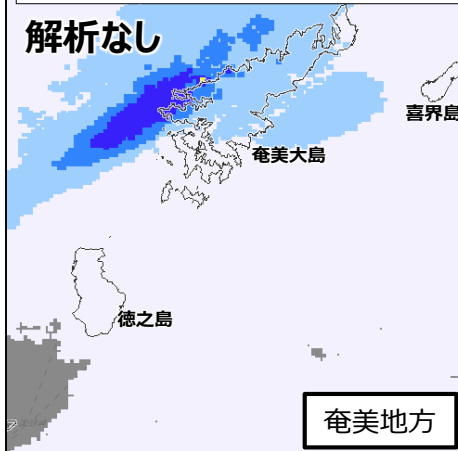


鹿児島県(奄美地方を除く)・宮崎県

鹿児島県(奄美地方を除く)及び宮崎県における3時間降水量の最大値は**約110ミリ**

3時間降水量 2024年5月28日09時20分時点

解析なし

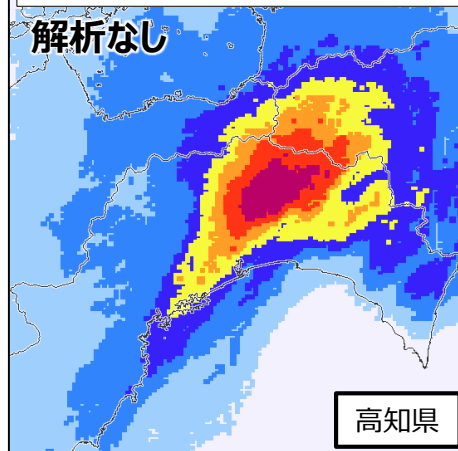


奄美地方

奄美地方における3時間降水量の最大値は**約80ミリ**

3時間降水量 2024年5月28日12時50分時点

解析なし

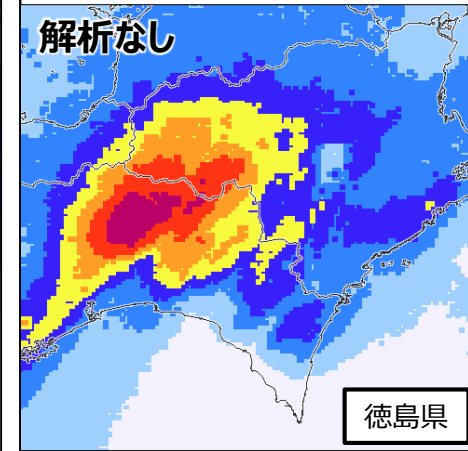


高知県

高知県における3時間降水量の最大値は**約200ミリ**(形状の基準を満たさず)*

3時間降水量 2024年5月28日13時30分時点

解析なし

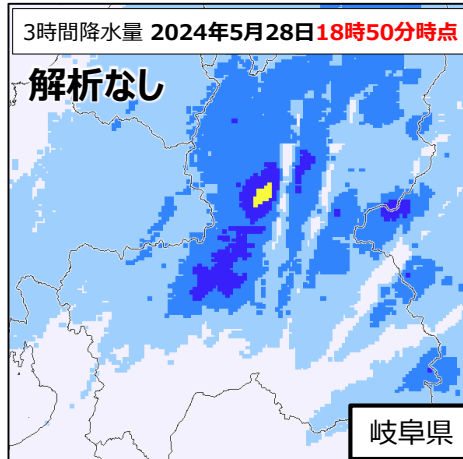


徳島県

徳島県における3時間降水量の最大値は**約160ミリ**(形状の基準及び危険度の基準を満たさず)*

3時間降水量 2024年5月28日18時50分時点

解析なし

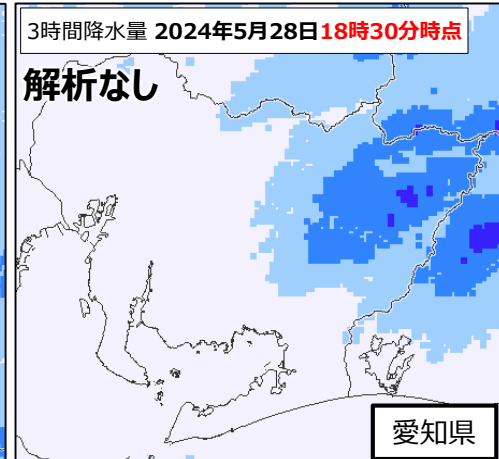


岐阜県

岐阜県における3時間降水量の最大値は**約90ミリ**

3時間降水量 2024年5月28日18時30分時点

解析なし

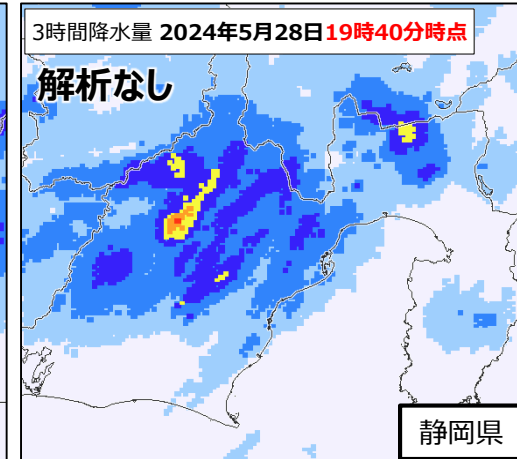


愛知県

愛知県における3時間降水量の最大値は**約70ミリ**

3時間降水量 2024年5月28日19時40分時点

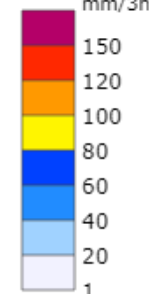
解析なし



静岡県

静岡県における3時間降水量の最大値は**約110ミリ**

3時間降水量
mm/3h

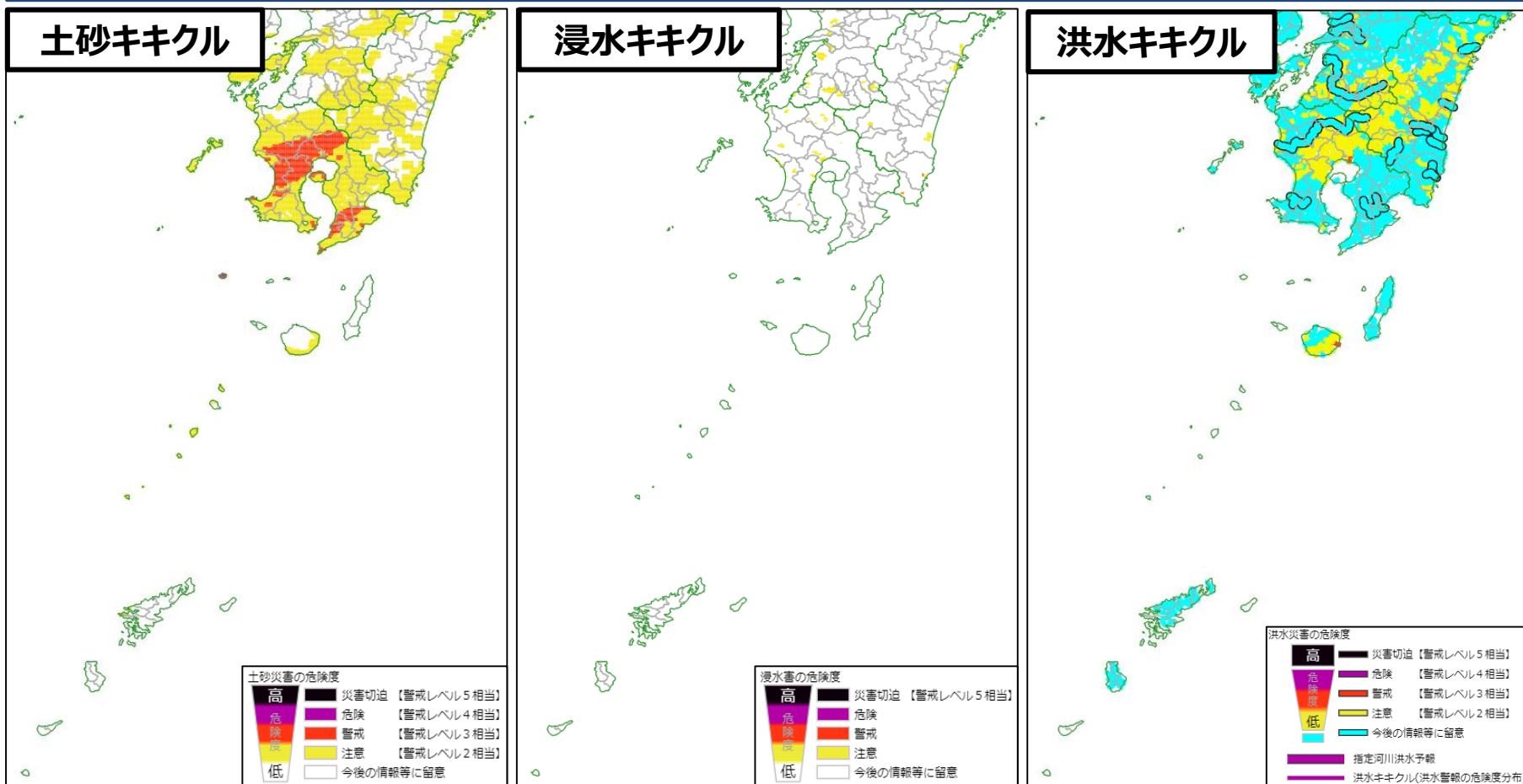


- 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施したものの、顕著な大雨に関する気象情報を発表しなかった府県予報区については「解析なし」とし、期間中雨量が多かった時間帯の雨量の状況を表示している。
- 各府県予報区の3時間降水量の最大値は5kmメッシュに平滑化した値を記述しており、1kmメッシュの3時間降水量分布図の最大値と一致しない場合がある。

※雨量の基準は超えたが顕著な大雨に関する気象情報が発表されなかった場合は、満たさなかった基準を記す。

(参考) キキクル (危険度分布) の状況

5月27～28日：鹿児島県（奄美地方を除く）では、土砂キキクルにおいて「警戒」（赤）が広がった。

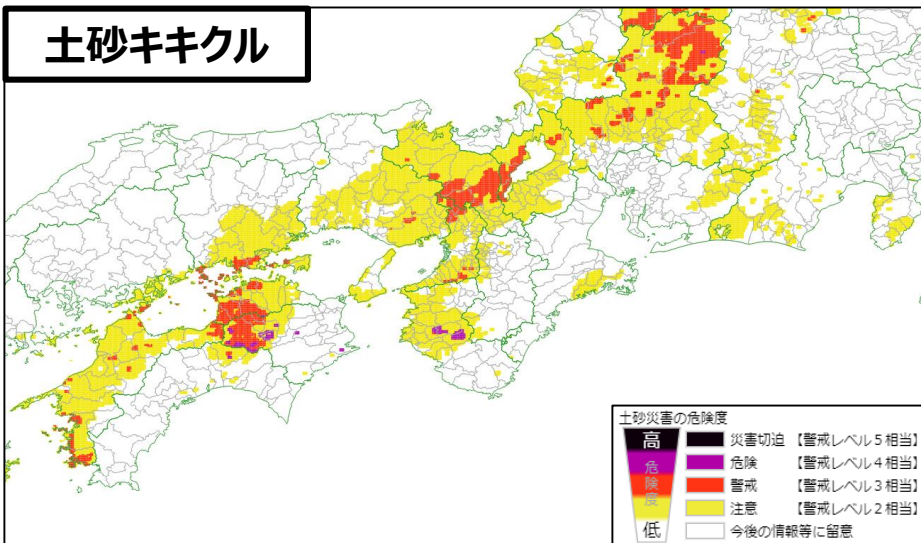


5月27日18時から28日18時にかけて出現した最大の危険度

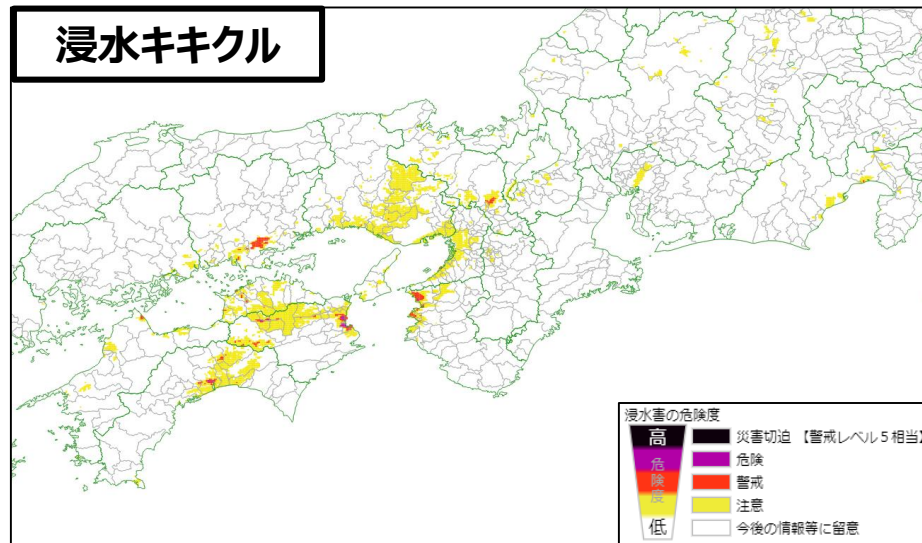
(参考) キキクル (危険度分布) の状況

5月28日：四国地方から東海地方にかけて、土砂キキクルにおいて警戒（赤）が広がり、土砂・浸水・洪水キキクルにおいて危険（紫）が出現した。

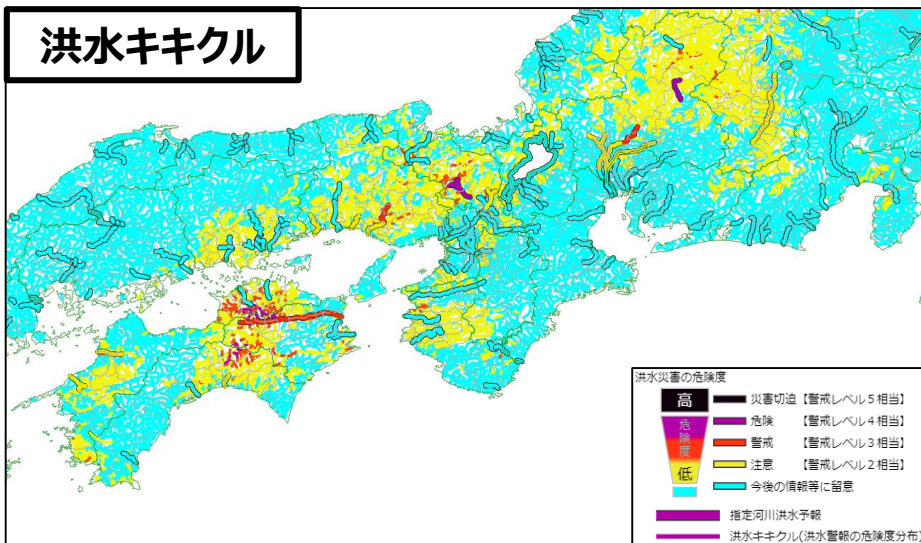
土砂キキクル



浸水キキクル



洪水キキクル



5月28日0時から29日0時にかけて出現した最大の危険度

本資料について

- 本資料は、線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施した事例、又は線状降水帯が発生した事例※¹について速報的にまとめた資料です。

※1 「線状降水帯が発生した事例」とは、前出の「顕著な大雨に関する気象情報の発表基準」を満たした場合をいいます。

- 本検証資料は「大雨事例等における防災気象情報の精度検証と発表基準の改善」のページからアクセスできます。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jirei/index.html>

- 関連する情報は、「線状降水帯に関する各種情報」のページをご覧ください。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/kishojoho_senjokousuitai.html

- 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを、府県予報区単位※²で実施していることから、検証も府県予報区単位で実施しています。

※2 鹿児島県では奄美地方を、東京都では伊豆諸島と小笠原諸島を区別して発表します。

現在の技術では、線状降水帯による大雨の正確な予測は難しく、呼びかけを実施しても必ずしも線状降水帯が発生するわけではありませんが、線状降水帯が発生しなくても大雨となる可能性は高いため、この情報が発表されたときには心構えを一段高めてください。

また、線状降水帯による大雨の呼びかけがなくても、線状降水帯が発生したり、災害をもたらすような大雨となったりすることがあるため、自治体が発令する避難情報や、大雨警報やキキクル等の段階的に発表される防災気象情報とあわせてご活用ください。